

富士山ハザードマップ作成のための地質調査--意義と成果の概要--

Geological investigations for creating hazard maps of Fuji Volcano---Their significance and results---

荒牧 重雄[1], 宮地 直道[2], 小山 真人[3], 南 哲行[4], 花岡 正明[5], 小泉 市朗[5], 安養寺 信夫[6], 布村 明彦[7]

Shigeo Aramaki[1], Naomichi Miyaji[2], Masato Koyama[3], Noriyuki Minami[4], Masaaki Hanaoka[5], Shiro Koizumi[5], Nobuo Anyoji[6], Akihiko Nunomura[7]

[1] 日大・文理・地球システム, [2] 野茶研, [3] 静岡大・教育・総合科学, [4] 砂防計画課, [5] 富士砂防, [6] (財)砂防技術センター, [7] 内閣府

[1] Earth Sci., Nihon Univ., [2] NIVTS, [3] DIST, Education, Shizuoka Univ., [4] Sabo Planning Division, MLIT, [5] Fuji Sabo, [6] STC, [7] Cabinet Office

富士山ハザードマップ作成のための地質調査－意義と成果の概要－

2000年10月に始まった富士火山直下の長周期群発地震がきっかけとなって、「富士山ハザードマップ検討委員会」が発足し、富士山の将来の噴火と関連災害についての防災マップと防災計画作成用のマニュアルの作成作業が2001年7月に開始された。国レベルでのこのような対応は今回が初めてであり、関係者一同（行政・学識者・コンサルタント）全力をあげて取り組んでいる。作業の重要な部分として、現地調査、史料調査を主とした富士火山の活動史、活動の特質等の調査がある。平成13年度（2001年度）分の成果の概要を報告し、最終報告に占めるその意義について述べる。当大会における他の関連表題の発表を参照されたい。

1) 富士山ハザードマップ作成のための地質調査－意義と成果の概要－

荒牧（東大名誉）、宮地（野茶研）、小山（静岡大）、南（国交省）、花岡・小泉（富士砂防）、藤巻（山梨県）、安養寺（砂防センター）、布村（内閣府）

2) 史料から読む富士山宝永噴火の推移

小山（静岡大）、西山（大谷大）、角谷・井上（日本工営）、笹原（国交省）、花岡・小泉（富士砂防）、安養寺（砂防センター）

3) 富士山宝永噴火の噴出率の推移

宮地（野茶研）、小山（静岡大）

4) 富士山宝永噴火のマグマ貫入モデルと前兆シミュレーション

中禮・林・瀧山（気象庁）、小山（静岡大）、藤井（東大震研）

5) 富士山宝永噴火後の二次的土砂移動の実態

6) 富士山貞観噴火の推移と噴出量

鈴木（アジア航測）、小山（静岡大）、宮地（野茶研）、笹原（国交省）、花岡・中村（富士砂防）、安養寺（砂防センター）

7) 富士山北東麓滝沢周辺の火砕流堆積物の分布と層序

田島（日本工営）、千葉（アジア航測）、吉本（東大地震研）、宮地（野茶研）、小山（静岡大）、荒牧（東大名誉）、下山（国交省）、花岡・中村（富士砂防）、安養寺（砂防センター）

8) 富士火山北東麓の火砕流堆積物の特徴

吉本・金子・藤井・中田（東大震研）

9) 富士火山北東麓滝沢火砕流に関する粒度組成と古地磁気

瀧（日大）、田島（日本工営）、千葉（アジア航測）、遠藤（日大）

10) 剣丸尾第1, 第2溶岩を形成した噴火とその堆積物

藤田・鈴木（アジア航測）、吉野・北川（日本工営）、小山（静岡大）、宮地（野茶研）、下山（国交省）、花岡・中村（富士砂防）、藤巻（山梨県）、安養寺（砂防センター）

11) 東麓における新富士火山テフラ年代の再検討

荒井・千葉・藤田（アジア航測）、小川（日本工営）、宮地（野菜茶業）、下山（国交省）、花岡・中村（富士砂防）、小野（砂防センター）

12) 北東麓における新富士火山テフラ年代の再検討

田島・阿部・児玉・久保（日本工営）、宮地（野茶研）、下山（国交省）、花岡・中村（富士砂防）、小野（砂防センター）、藤巻（山梨県）

13) 2200年前以降の富士山山頂域の火山活動

尾関・吉田・小林（ダイヤコンサル）、宮地（野茶研）、笹原（国交省）、花岡・中村（富士砂防）、安養寺（砂防センター）

14) 富士火山砂沢スコリアの化学組成

藤井・吉本（東大震研）, 荒井（アジア航測）, 宮地（野茶研）, 小山（静岡大）

15) 剣丸尾溶岩流の流下シミュレーション

山下・片島（住鉱コンサル）, 安養寺・嶋（砂防センター）, 千葉（アジア航測）, 花岡（富士砂防）,（国土交通省砂防部）

16) 富士火山山頂部の溶結火砕堆積物と噴火様式

安井真也・小笠原耕介・高橋正樹（日大）

17) 富士火山中腹の巨大岩塊を含む溶結火砕堆積物の起源

高橋正樹・永井 匡・安井真也（日大）